

薄型テレビ事業の改善ならびに事業強化に向けた取り組みについて

株式会社日立製作所(執行役社長:古川 一夫)は、薄型テレビ事業について、早期に業績改善を図り、安定的な収益構造を構築すべく、すでに推進中の事業戦略に加え、新たな事業強化策を遂行します。当社では、薄型テレビ事業を、今後さらなる市場の拡大が見込まれるとともに、放送通信融合時代の中核製品としての発展が可能な成長事業であり、日立グループの先端技術で他社に先駆けて市場のニーズに対応することで、ブランドの価値向上を図ることができる重点事業と位置付けています。

テレビを構成する主要な技術の革新に伴い、壁掛けや省エネを可能とする新しいテレビが登場するなど、薄型テレビが大きく変わろうとしています。当社では、薄型テレビに使用されるパネルの高性能化を図るべく、他社との協創も活用するなど、プラズマパネルと液晶パネルの事業強化に、取り組んできました。そして、常に新しい価値を追求する消費者のニーズに引き続き対応すべく、昨年12月から販売している、壁掛けを可能にする液晶テレビ超薄型「Wooo」UT シリーズのラインアップ拡充と、現在開発中の環境保護に対応した次世代超薄型プラズマテレビの早期製品化を進めるなど、高付加価値製品の開発・販売を強化していきます。

さらに、販売力強化に向け、最先端の技術を搭載した高付加価値製品の販売に強みのあるチャンネルを強化するほか、売上拡大や生産ラインの操業度向上を目的に、プラズマパネルの外販を強化するとともに、生産効率の向上に取り組むなど、薄型テレビの事業強化に向けた取り組みを加速していきます。

具体的な経営施策は、次の通りです。

1.「超薄型」テレビなどの高付加価値製品の開発・販売を強化

2008年1月に米国ラスベガスで開催された「2008 International CES」での各社の展示でも明らかのように、これからの薄型テレビには、美しい映像を楽しむことができる「高画質化」、テレビの壁掛けを実現する「超薄型化」や「ワイヤレス化」、インターネット上の情報をテレビで手軽に楽しめる「IPTV 対応」、そして環境保護に対応した「省電力化」が求められています。

壁掛けが可能な、ワイヤレス通信に対応した超薄型テレビなど、常に新しい価値を追求する消費者のニーズに、日立グループの強みである研究開発力を発揮し、付加価値の高い薄型テレビを他社に先駆けて製品化することで、市場での優位性を確立します。

具体的には、テレビの超薄型化に対応するため、現在開発中の薄さ 30mm 台を実現する、高画質で高級感のある次世代超薄型プラズマテレビの早期市場投入を行うほか、他社に先駆けて昨年頃から販売している、チューナーとパネル間のワイヤレス通信が可能な薄さ 35mm の液晶テレビ超薄型「Wooo」UT シリーズのラインアップ拡充や現在開発中の薄さ 19mm の液晶テレビの市場投入によって、競争力の強化を図ります。また、インターネットを通じた動画コンテンツを楽しむことのできるテレビをはじめ、放送通信融合時代に対応した多機能テレビの早期市場投入を行うほか、高画質化・省電力化を実現できるパネルの開発など、高付加価値製品の開発・販売の強化に向けた取り組みを加速していきます。

2.高付加価値製品の販売に強みを持つチャネルを主軸とした営業体制の強化

販売体制については、高付加価値製品を求める消費者に対応するべく、国内外において高付加価値製品の販売に強みを持つチャネルを主軸に据えた営業体制とし、さらに海外では重点販売地域の強化を図ります。

日本市場では、量販店を通じた超薄型テレビの販売を推進するとともに、地域店や業務用システムルートでの販売も拡大します。

海外市場では、高い成長率が見込まれる中国市場において、プラズマテレビシェア No.1 の実績とブランド力を活用して、さらなるシェア拡大をめざします。北米市場においては高級 AV 専門店や地域店、欧州市場においては大型量販店とのパートナーシップの強化を行うなど、効率的な販売体制を構築します。

さらに、営業体制の転換に伴う販売投資の重点化、トータル・サプライ・チェーン・マネジメント (TSCM) の強化による物流費の低減も進めていきます。

3.パネル性能の飛躍的向上を実現する新プラズマパネルの開発と外販の強化

壁掛け可能な超薄型で、高コントラスト・高輝度、低消費電力といったパネル性能の飛躍的向上を実現する次世代プラズマパネルの開発をすでに進めている先行メリットを活かし、開発加速により、大画面サイズにおけるプラズマテレビの優位性を強化します。さらに、開発、調達、生産といった広範なプロセスで他社との協業の深化を進めるほか、モジュール加工拠点の集約等により、コスト競争力の強化を図ります。

また、プログレッシブ方式採用プラズマパネルやパネルと電源を組み合わせたモジュール型販売等により、プラズマパネルの外販事業を拡大し、日本・中国をはじめ、拡大しているパネル需要への対応力を強化していきます。また、開発、調達、商品企画、生産面における他社との協業を深化させることで、開発力、コスト競争力の一段の強化を図ります。

なお、液晶パネル事業については、他社との協創により、さらなる強化を図ります。

4.事業の効率化を追求

材料費の大幅低減、作業工数の低減や生産拠点の集約など、コスト競争力を強化します。また、事業の効率化を図るべく、生産ラインの稼働率向上や TSCM による在庫費用の圧縮を行うほか、他の事業強化部門への異動を含めた人員の適正配置を進めていきます。

以 上

このニュースリリースにおける将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
